

## SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	和田 翔	学校名	習志野市立第一中学校
実施学年	3学年	教科	社会
单元名	ちがいのちがい		

### 《学びを深めたいポイント》

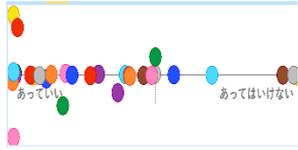
- ・「対立」と「合意」、「効率」と「公正」、「個人の尊重」と「法の支配」などに着目し、法の意義や法に基づく政治が大切であることを理解する。
- ・憲法によって私たちの人権が保障されている意義について、考察と表現をさせる。
- ・対立が生じる「ちがい」があってもよいか、よくないか、その理由についてグループで意見交換する中で、自分自身の考えを深めさせる。

### 《SKYMENU 活用のポイント》

- ・skymenu の「ポジショニング」を活用し、自身の考えをマーカーで表すとともに、他者の意見を確認する。グループや学級全体の意見を聞き、自身の最終的な考えを決め、再度マーカーを動かす。自身の考えの変化を客観的に見ることが出来る機会とする。

### 《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導 入	<p>・人や場所の違いによって、考えや行っていることが違うことを理解させるために、例を出して話をする。</p> <p>例、小学校は業者のテストだが中学校は教員が作成したテストである。このちがいはあってもよいか。</p>		
展 開	<p>・カードの例を1枚ずつ、学級全体で考えていく。</p> <p>「あってもよい」「あってはいけない」を考えて考えて、なぜそのように考えたのか理由を説明できるようにする。</p>	<p>・各カードごとに、skymenu の「ポジショニング」を使用して、自身の考えをマーカーで表す。そのように考えた理由を、下の理由記載欄に記入させる。</p>	<p>・教員の操作によって、学級全員のマーカー位置を全体で確認することができるため、全員がどのように考えているかを一目で確認することができる。</p>

	<p>・自身の考えを、グループの中で共有し、グループの中で「あってもよい」「あってはいけない」のどちらかの考えに決定する。</p>  <p>・各グループで、どのような考えになったか全体に共有し、学級内の考えを決定する。</p> <p>・なぜ「あってはいけないのか」を全体で考える。</p>	<p>・グループの共有で、意見が変わった際には、マーカーの位置を変えることができるようにする。</p>	<p>・自身の考えの変化を可視化できる。</p> 
<p>ま と め</p>	<p>・まとめを行う</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>個人の権利が尊重されるべきだから、あってはいけない違いも多くあることに気づくことができた。</p> </div>		

《実践を振り返って》

<p>・今回の実践を振り返り、以下のメリットとデメリットが ICT を活用して考えられることであった。</p> <p>メリット</p> <p>他者との意見の違いから、生徒自らが「ルール」の必要性を感じてくれた。</p> <p>他者の意見がリアルタイムで見える化されるため、他者の意見がわかりやすい</p> <p>デメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の意見が見えるため、画面に集中してしまう       <ul style="list-style-type: none"> <li>→班内での自分の意見を述べる時間がおろそかになる</li> </ul> </li> <li>・意見の中で、「なんとなく」という意見が出る</li> </ul>
---